

5 楠グリーンテニスクラブ歴友会 4月行事

楠グリーンテニスクラブ歴友会の高遠城址公園花見の旅

楠グリーンテニスクラブ歴友会の4月行事は、花見の季節ということで、有名な「高遠の桜」を見に出かけた。あいにくの雨の中、バスにゆられて雨の城址公園に到着した。

高遠城は、南北朝の頃、支配していた高遠氏の城であったが、信玄の侵略にあつて組下となり、その家臣の秋山信友、山本勘助らによって、拡張、改築されたものである。ここに天下布武を目前にした信長の長男信忠軍が攻め寄せ、守り手の信玄五男仁科盛信が迎え撃ったが、多勢に無勢、壮絶な死を遂げたことで知られている。

明治8年頃から桜を植え始め、現在の360度桜に囲まれた城址公園となったもので、今も残る老木はその時植えたものといわれる。また、高遠城は、日本城郭協会によって「日本100名城」に指定されている。築城技術の名残を空堀から偲ぶことができる。

雨の中でゆっくりできなかつたが、このように前後左右、桜また桜に囲まれる経験は、なかなかできるものではないと感じ入った次第であった。

